

# シネマ

Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

## Ciné-là



No.101

### fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは  
映画の保存を目的とする国際団体です。  
福岡市総合図書館はFIAFに加盟しています。

1 収蔵映画特集

# 韓流女優物語

韓国映画史を  
彩る女優達の  
作品を特集。



上映作品

- 嫁入りの日 / 成春香
- 雨のめぐり逢い
- 馬鹿たちの行進
- 寡婦の舞 / 黄真伊
- 灼熱の屋上 / ザ・コンタクト
- 八月のクリスマス
- マヨネーズ

「八月のクリスマス」



「ザ・コンタクト」

2 収蔵映画特集

# イメージアートの世界

総合図書館では日本の実験映画を収集しています。ドラマでは表現できない映像だけの美しさ、誰も見たことがないイメージの表現を目指す実験的な作品、イメージアートの特集です。



「100%の女の子」



「エクスタシス」



「オランダ人の写真」

上映作品

- 「へそと原爆」「ひなのかけ」
- 「猶予、もしくは影を撫でる男」「エクスタシス」
- 「イン・ザ・リバー」「SPACY」「GHOST」
- 「悪魔の回路図」「THE MOON」「モノクローム・ヘッド」
- 「DAYS」「RING」「襲」「Xerophilie」「AQUARIUM」
- 「100%の女の子」「女王陛下のポリエステル犬」
- 「時が乱吹く」「メモリー7」「オランダ人の写真」
- 「通り過ぎる電車のように(1&2)」「フィルムディスプレイ」
- 「ゴードランド」「MOVIE WATCHING」「戯れの太陽系」
- 「TOKIO HOUSE」「私小説5」「かげのあかり」

# 韓流女優物語

観覧料:500円(大人)  
400円(大学生・高校生)  
300円(中学生・小学生)

定員制・各回入替制。  
チケットはすべて当日券。前売り券はありません。  
福岡市在住の障害者の方は無料。  
福岡市在住の65歳以上の方は半額。(手帳の提示が必要です。)

韓国映画史を彩る女優達の作品を特集。

## おすすめ 成春香 The Story of Sung Chun-hyang

1月5日(水)14:00 1月10日(月・祝)14:00

1961年 / 35ミリ / カラー / 108分 / 韓国 / 日本語字幕付き / 監督:シン・サンオク / 出演:チェ・ウニ、キム・ジギョ

「春香伝」は李朝時代に書かれた小説で、韓国人なら誰でも知っている恋愛ドラマの古典的名作です。李朝時代、地方を治める長官の息子モンニョンは、芸妓の娘チュニャンと出会い、恋に落ちます。固く結婚の約束をする二人ですが、父親の転勤と科挙の試験のため二人は離ればなれとなります。新しく赴任してきた長官ピョンは好色な男で、美しいチュニャンを妾にしようとする。しかしチュニャンはどんな拷問にあってもモンニョンへの愛を貫きます。我慢できないピョンはチュニャンを処刑しようとするが、その時科挙の試験に合格したモンニョンが、チュニャンを迎えにやって来るのです。

当時の韓国ではヤンバンと庶民の恋愛はタブーであり、チュニャンの恋は身分違いの許されざるものです。チュニャンの身分を越えた、愛する男性への一途な純愛は歴史を越えて韓国の大衆に愛されてきました。この物語が最初に映画化されたのは1923年で、日本人の製作による無声映画でした。以後韓国では何度も映画化され、常に時代を代表する女優達がチュニャンを演じてきたのです。

本作が製作された1961年には2本の「春香伝」で同時に公開されました。シン・サンオク監督と監督夫人であるチェ・ウニをヒロインとした本作と、ホン・ソング監督と同じ監督夫人であるキム・ジミをヒロインとした「春香伝」です。当時に人気を二分していた二大ヒロインによる激突は大いに話題となり、興行的には「成春香」が圧勝しました。観客は現代的美人のキム・ジミより、伝統的韓国美人のチェ・ウニを選んだのです。

ちなみにイム・グォンテク監督の傑作「風の丘を越えて」で歌われるパンソリも「春香伝」の物語であり、またイム・グォンテク監督は2000年に「春香伝」を監督しています。チュニャンの物語は現代でもまだ愛されているのです。



## 雨のめぐり逢い Green Love

1月6日(木)14:00 1月15日(土)11:00

1966年 / 35ミリ / モノクロ / 100分  
韓国 / 日本語字幕付き / 監督:チョン・ジヌ  
出演:ムン・ヒ、シン・ソニル

洗車場で働く男と、フランス大使の家で働く家政婦、二人は身分を偽り金持ちの振りをしてつきあい始める。だが、男は借金を重ねてついに強盗を働いてしまう。60年代ブームとなった青春映画の一本。ヒロインのムン・ヒは本作がデビューで、爆発的な人気を得る。



## 寡婦の舞 Widow's Dance

1月7日(金)19:00 1月15日(土)17:00

1983年 / 35ミリ / カラー / 109分 / 韓国  
日本語字幕付き / 監督:イ・チャンホ  
出演:イ・ボヒ、パク・ウンスク

日本人の恋人に捨てられたヒロインのマルスクは、結婚詐欺で逮捕され、子連れで逃げた。80年代韓国を代表するイ・チャンホ監督の傑作。ヒロインのイ・ボヒは、イ・チャンホ監督とのコンビで「馬鹿宣言」「旅人は休まぬ!」など数多くの傑作に主演する。



## 嫁入りの日 The Wedding Day

1月6日(木)19:00 1月10日(月・祝)11:00

1956年 / 35ミリ / モノクロ / 77分 / 韓国  
日本語字幕付き / 監督:イ・ピョンイル / 出演:チョ・ミジョン、キム・スンホ

下級官僚・孟の娘カップンは高級官僚・金の息子ミオンと婚約する。しかし孟はミオンが足が不自由という噂を聞き、下女のイップを身代わりとして結婚させる。原作は日帝時代に発表されたもので、世俗主義を嘲笑するコメディ映画である。本作はアジア映画祭で喜劇特別賞を受賞しており、ヒロインのチョ・ミジョンは当時の大スター。



## 馬鹿たちの行進 The March of the Fools

1月7日(金)14:00 1月15日(土)14:00

1975年 / 35ミリ / カラー / 101分 / 韓国  
日本語字幕付き / 監督:ハ・ギルチョン  
出演:イ・ヨンオク、ユン・ムンソプ

ピョントは大学の哲学科に通う学生。彼は合コンでヨンジャと知り合う。ピョントは卒業したら結婚しようと申し込むのだが、ヨンジャは取り合ってくれない。70年代を代表する監督ハ・ギルチョンの代表作の1本。閉塞した時代の中の若者達の青春が共感をもって描かれる。

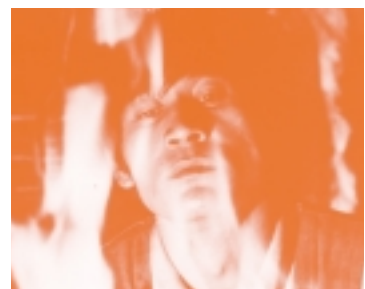


## 黄真伊 ファン・ジニ Hwang Chin-ee

1月8日(土)17:00 1月13日(木)14:00

1986年 / 35ミリ / カラー / 119分 / 韓国  
日本語字幕付き / 監督:ペ・チャンホ  
出演:チャン・ミヒ、チョン・ムソン

ファン・ジニは李朝時代に実在した名妓で、名家に生まれながら男のために身を落とすという彼女の波乱の生涯を映画化した作品。彼女の愛の物語が、溝口健二を思わせる華麗な映像美で綴られていく。ファン・ジニを演じるチャン・ミヒの美しさは特筆ものである。



## 灼熱の屋上

A Hot Roof

1月8日(土)11:00 1月14日(金)19:00

1995年 / 35ミリ / カラー / 110分 / 韓国  
日本語・英語字幕付き / 監督:イ・ミニョン  
出演:ハ・ユミ、チョン・ソンギョン

真夏のソウル。日頃の男達の横暴に我慢できなくなった女性達が、男を殺しシベルの屋上に立てこもり、女性の解放を訴える。彼女たちはマスコミに注目され警察はうかつに手が出せなくなる。これまでの韓国映画には見られなかったパワフルな女性像が描かれる、コメディタッチの作品。



## ザ・コンタクト

The Contact

1月8日(土)14:00 1月16日(日)11:00

1997年 / 35ミリ / カラー / 106分 / 韓国  
日本語・英語字幕付き / 監督:チャン・ユンヒョン / 出演:チョン・ドヨン、ハン・ソッキュ

ラジオ番組のプロデューサー、ドンヒョンと偶然メールを交換することになるスヒョン。二人は共に報われぬ愛に悩みながら、次第に心を開いていく。新感覚の都会派ラブストーリーで、当時、人気抜群の男優ハン・ソッキュが主演し、ヒロインのチョン・ドヨンは本作の大ヒットで一躍人気女優の仲間入りをする。



## 八月のクリスマス

Christmas in August

1月9日(日)14:00 1月16日(日)14:00

1998年 / 35ミリ / カラー / 97分 / 韓国  
日本語・英語字幕付き / 監督:ホ・ジノ  
出演:シム・ウナ、ハン・ソッキュ

ソウルの片隅で写真館を営むジョンウオンの所に、交通違反の取り締まりをしているタリムが写真の現像にやってくる。二人はほのかな恋心を抱くのだが、実はジョンウオンは不治の病にかかっていた。今の韓流の原点ともいえる傑作。ヒロインのシム・ウナは韓国のオードリー・ヘップバーンと呼ばれた。



## マヨネーズ

Mayonnaise

1月9日(日)11:00 1月14日(金)14:00

1999年 / 35ミリ / カラー / 103分 / 韓国  
日本語・英語字幕付き / 監督:ユン・イノ  
出演:キム・ヘジャ、チェ・ジンシル

アジンは30代の主婦。ある日夫が海外出張中に突然母親が泊まりに来る。おしゃべりでいつも不平や愚痴ばかりの母親に、アジンは我慢できず、喧嘩ばかりしてしまう。ベストセラー小説の映画化で、世代の違う二人の女性の価値観の違いをテーマにした作品。喧嘩しても離れられない親子の不思議な関係が面白い。



### 収蔵映画特集

# イメージアートの世界

総合図書館では日本の実験映画を収集しています。  
ドラマでは表現できない映像だけの美しさ、誰も見たことがないイメージの表現を目指す実験的な作品、イメージアートの特集です。

会期:平成17年

1月20日(木)~23日(日)

観覧料:500円(大人)400円(大学生・高校生)  
300円(中学生・小学生)

定員制。各回入替制。チケットはすべて当日券。前売り券はありません。  
福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65歳以上の方は半額。  
(手帳の提示が必要です。)

1月20日(木)14:00 1月22日(土)17:00

プログラムA 5作品 / 86分 1960年代の作品集



「エクスタシス」1969年 / 16ミリ / モノクロ / 15分 / 飯村隆彦

- 「へそと原爆」  
1961年 / 16ミリ / モノクロ / 15分 / 細江英公
- 「ひなのかげ」  
1966年 / 16ミリ / モノクロ / 19分 / 高林陽一
- 「猶予、もしくは影を撫でる男」  
1967年 / 16ミリ / モノクロ / 26分 / 奥村昭夫
- 「エクスタシス」  
1969年 / 16ミリ / モノクロ / 11分 / 松本俊夫
- 「イン・ザ・リバー」

1月21日(金)19:00 1月23日(日)11:00

プログラムC 3作品 / 110分



「100%の女の子」

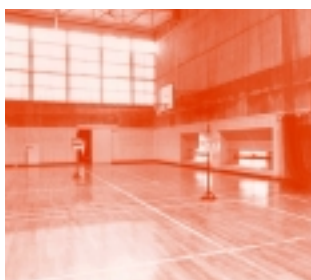
- 「100%の女の子」  
1983年 / 16ミリ / カラー / 11分 / 山川直人
- 「女王陛下のポリエステル犬」  
1994年 / 16ミリ / カラー / 37分 / 寺島真理
- 「時が乱吹く」  
1991年 / 16ミリ / カラー / 62分 / 金井勝

1月21日(金)14:00 1月22日(土)14:00

プログラムB 10作品 / 76分

- 「SPACY」  
1981年 / 16ミリ / カラー / 10分 / 伊藤高志
- 「GHOST」  
1984年 / 16ミリ / カラー / 6分 / 伊藤高志
- 「悪魔の回路図」  
1988年 / 16ミリ / カラー / 8分 / 伊藤高志
- 「THE MOON」  
1994年 / 16ミリ / カラー / 7分 / 伊藤高志
- 「モノクローム・ヘッド」  
1997年 / 16ミリ / カラー / 10分 / 伊藤高志
- 「DAYS」  
1981年 / 16ミリ / カラー / サイレント / 5分 / 稲垣洋祐
- 「RING」  
1982年 / 16ミリ / モノクロ / 7分 / 賛田英雄
- 「襲」  
1985年 / 16ミリ / カラー / 6分 / 増原一衛

- 「Xerophilie」  
1985年 / 16ミリ / カラー / 11分 / 森下明彦
- 「AQUARIUM」  
1991年 / 16ミリ / カラー / 6分 / 川口肇



「SPACY」

1月22日(土)11:00 1月23日(日)14:00

プログラムD 10作品 / 107分

- 「メモリー7」  
1974年 / 16ミリ / モノクロ / 14分 / 萩原朔美
- 「オランダ人の写真」  
1976年 / 16ミリ / カラー / サイレント / 6分 / 居田伊佐雄
- 「通り過ぎる電車のように(I)II」  
1978年 / 16ミリ / カラー / 9分 / 安藤純平
- 「フィルムディスプレイ」  
1979年 / 16ミリ / カラー / サイレント / 4分 / 瀬尾俊三
- 「ゴerland」  
1981年 / 16ミリ / カラー / 8分 / 加藤到
- 「MOVIE WATCHING」  
1982年 / 16ミリ / モノクロ / サイレント / 12分 / 奥山順市
- 「戯れの太陽系」  
1985年 / 16ミリ / カラー / 7分 / 昼間行雄
- 「TOKIO HOUSE」  
1990年 / 16ミリ / カラー / 7分 / 石田純章

- 「私小説5」  
1991年 / 16ミリ / カラー / 25分 / かわなかのぶひる
- 「かげのあかり」  
1994年 / 16ミリ / カラー / 15分 / 斎藤ユキエ



「オランダ人の写真」

# 1月上映スケジュール

Schedule

1	土	
2	日	年末年始の休館日
3	月	
4	火	
5	水	【14:00】成春香
6	木	【14:00】雨のめぐり逢い 【19:00】嫁入りの日
7	金	【14:00】馬鹿たちの行進 【19:00】寡婦の舞
8	土	【11:00】灼熱の屋上 【14:00】ザ・コンタクト 【17:00】黄真伊(ファン・ジニ)
9	日	【11:00】マヨネーズ 【14:00】八月のクリスマス
10	月(祝)	【11:00】嫁入りの日 【14:00】成春香
11	火	休館日
12	水	休映日
13	木	【14:00】黄真伊(ファン・ジニ)
14	金	【14:00】マヨネーズ 【19:00】灼熱の屋上
15	土	【11:00】雨のめぐり逢い 【14:00】馬鹿たちの行進 【17:00】寡婦の舞
16	日	【11:00】ザ・コンタクト 【14:00】八月のクリスマス
17	月	休館日
18	火	休映日
19	水	休映日
20	木	【14:00】プログラムA
21	金	【14:00】プログラムB 【19:00】プログラムC
22	土	【11:00】プログラムD 【14:00】プログラムB 【17:00】プログラムA
23	日	【11:00】プログラムC 【14:00】プログラムD
24	月	休館日
25	火	休映日
26	水	休映日
27	木	休映日
28	金	休映日
29	土	休映日
30	日	自主上映【福岡映画サークル2005年第1回例会】
31	月	休館日

## 韓流女優物語

## 世界のインターネット



## 今、最も注目される韓国映画

「韓流」フィーバーで最近韓国映画が最も注目を浴びています。韓国映画の人気は韓国、日本に限定されている訳ではなく世界中にも広まっており、これは最近急に起きた現象ではありません。世界でも最も有名な国際映画祭のひとつであるフランスのカンヌ国際映画祭で昨年のグランプリに輝いたのは韓国映画、パク・チャヌク監督の「オールド・ボーイ」です。

この3作品は欧米で封切られていませんが、人気は高く、作品に関する英語のホームページ数は作品によって数百から数千ページに至ります。英語圏向けの英文字幕付ビデオ・DVDも販売されています。米国の大学等では無料上映会が開催され、評判を呼びました。

この3作品が国際的に受け、韓国映画業界に貢献したことは言うまでもありません。そしてアジアフォーカス福岡映画祭で紹介された後にこの3作品は、他の国でも上映され、広く知られるようになりました。

今月の特集では他に7作品上映されますが、どれも素晴らしく、韓国映画の質の高さを改めて感じさせられました。この機会に是非ご覧ください。

メールを通じた恋愛を感動的に描き、韓国で封切られた当時ソウルだけでも70万人近い動員を記録して大ヒットしたチャン・ユンヒョン監督の「ザ・コンタクト」(1997)はNHKでも放送され、国際映画祭等で15以上の賞を受賞した作品です。

自分の死期が分かっている

映像調査専門員  
デビッド キャリシャー

## インフォメーション

### シネラニュース送付のご案内

定期購読ご希望の方に毎月シネラNEWSをお届けしております。購読を希望される方は、平成17年2月号～平成17年4・5月号までの郵便切手(90円×3ヶ月)を同封の上、下記宛先へお申度ください。  
宛先:〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1  
福岡市総合図書館 映像資料課

### ビデオ編集技術研究室のご案内

ビデオ研究室では、家庭で撮影されたビデオ(Hi8・DV)や各行事の記録ビデオの編集などに利用できます。(使用料1時間500円、連続使用3時間迄) 詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで

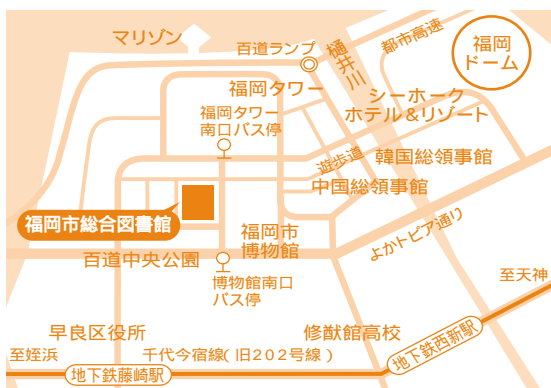
### 自主上映のお知らせ \*詳細については、直接主催者にお問い合わせください。

1月30日(日)福岡映画サークル2005年第1回例会

冬の日【11:00】【14:00】

観覧料/前売:1,200円 当日:1,400円 シニア:1,000円

主催/福岡映画サークル協議会(TEL092-781-2817)



## 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。  
地下鉄:  
西新駅または藤崎駅から徒歩15分  
西鉄バス:  
天神～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間で約20分)  
博多駅～都市高速経由～福岡タワー南口(所要時間:昼間で約25分)  
福岡タワー南口バス停から徒歩3分

### 公共交通機関ご利用のお願い

駐車場は図書館利用者の共用であり、映像ホール専用の駐車場はありません。駐車スペースに限りがあり、常時混雑しておりますので長時間の駐車はご遠慮いただいております。できるだけ公共交通機関のご利用をお願いいたします。土日祝日のご利用や1日に複数回の映画をご覧いただく場合などは、特にご協力をいただきますようお願いいたします。

## Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là 福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号  
福岡市総合図書館(代表)092(852)0600 映像資料課092(852)0608 Fax.092(852)0609  
福岡市総合図書館ホームページアドレス <http://toshokan.city.fukuoka.jp/>